

巖 神 青

〔内 容〕

- ・宮城県災害復旧支援活動
- ・鶴住神社復興支援活動
- ・護国神社清掃奉仕活動並びに第二回役員会
- ・聖寿奉祝の碑清掃活動と修祓式参加
- ・盛岡少年刑務所収獲感謝祭
- ・盛岡少年院収獲感謝祭
- ・会員懇親会並びに第三回役員会
- ・役員インタビュー
- ・岩神青ホームページのご案内

宮城県災害復旧支援活動



九月二十四日、先般発生した豪雨河川氾濫決壊にて被災した宮城県黒川郡大和町内の復旧支援活動が行われた。

午前九時にボランティアセンターが設置されている大和町の、まほろばホールに集合し受付後バスにて支援活動を行う大和町舞野文化センターへ移動。ボランティアセンターの方のお話の後、復旧活動へ。作業場所へ移動中、水の勢いで剥がれた道路や崩れた壁、浮いた縁石等、目にし改めて水の力を実感した。



作業は数班に別れ、午前中

は主に用水路や側溝の泥上げに従事。当県会員も凡そ百メートルに亘る用水路に溜まった泥・砂利の掻きだし作業に当たった。

午前の作業を終え、文化センターへ戻ると、とても良い匂いが出迎えた。広島からボランティアの方々へ料理を作るため来ていたシェフのボランティアさんが人数分のパスタを振舞ってくれた。石巻産のサバと空豆を使用したパスタである。疲れた体には有り難い料理であった。大変美味しく頂いた。

午後は当県会員を含む櫻谷六県会長以下六名で民家床下に潜り泥上げの作業に従事した。住民の方が播いた石灰で呼吸も厳しく奥に行けば湿気と暗闇で恐怖感が増したと話す会員も居たが、無事作業を終える事が出来た。

午後四時には、まほろばホ

ールに戻り解団式。現地解散となった。

鶉住神社復興支援活動

九月二十七日、釜石市の鶉住神社にて復興支援活動が行われた。

午前七時に参集、神輿渡御祭の祭儀の後、午前九時頃から渡御が行われた。当日は天候にも恵まれた。途中、仮設商店街、地区のグラウンドで郷土芸能の奉納が行われ、たくさんの方が見物に訪れていた。午後四時半頃、神社に到着、還幸祭が行われ、直会。午後七時頃、活動を終えた。

この日、渡御に使われたお神輿は、東日本大震災の津波で神社のお神輿が被災したため、新しく造り代えられたお神輿であった。お神輿の制作にあたった淡路島の会社の社長さんを始め、たくさん

の関係者の方達の参列もあり、祭儀終了後に参列者の前でお神輿の復活の経緯や想いを述べられ、それを聞いて胸が熱くなった。



終了後、宮司に感想などお話を伺ったところ、新しい神輿がお披露目となりお祭りを通して、復興が進んでいることを感じてもらい、明るい気持ちを取り戻して欲しい。神社が地域の拠り所となり復興を進めていきたいとお

つしやられ、これからの復興や来年のお祭りへの意気込みなどが感じられた。

護國神社清掃奉仕並びに第二回役員会開催

十月二日、第二回役員会が開催され、それに併せ護國神社の清掃奉仕活動が開催された。



まずは護國神社境内の落ち葉の掃き掃除、社殿のガラス拭き作業を行う。



続いて盛岡八幡宮社務所に会場を移し役員会が行われた。会長の挨拶の後、諸報告、そして協議事項へと移り、下半期の事業計画が承認され、少年院少年刑務所収獲感謝祭、建国祭県内奉祝活動について協議された。特に議案「建国祭県内奉

祝活動について」においては、全国的に憲法改正の気運が高まっているなかで岩手県は野党の影響力が強く、民意の形成に至っていないことから、青年神職としても大いに関わり深い、「建国をしのび、国を愛する心を養う日」である建国記念の日に併せ「憲法改正運動について（提案）」という形で、関係諸団体との連携を取りつつ①街宣活動②署名活動③啓発活動を行ってはどうかという提案が執行部からなされ、賛否また別のアプローチからの活動の提案など、活発な意見交換が行われた。結論はひとまず見送りとなり、時局対策委員会とも意見交換を行いながら、今回出た意見を基に更に検討を重ね、十一月に予定されている会員懇親会で臨時役員会を開催し、再度提案することと合意した。

各委員会からの報告では、事業委員会からは千歳館を始めとする事業頒布品頒布活動について、広報委員会からは広報岩神青の発刊、県内神社とのホームページの相互リンクのお願いについて、時局対策委員会からは田村県議選挙支援活動についての報告と御礼がなされ、閉会となった。

懇親会は櫻山神社向いの「MASS(マス)」で行われ、役員会さながらに活発な意見交換が行われている様子だった。

第三回役員会並びに
会員懇親会開催

十一月十一日、盛岡市のつなぎ温泉「ホテル紫苑」に於いて、毎年恒例の会員懇親会が開催された。

懇親会に先立ち第三回役



員会が開かれ、東北六県神道青年協議会の親睦事業の報告や、建国記念の日奉祝活動並びに憲法改正啓発活動についての協議が行われた。特に前回の第二回役員会で継続協議事項となつた憲法改正啓発活動については、執行部より啓発パンフレットの配布活動という提案がなされ、多数の賛成を以て議決された。今後は関係諸団体と協議、調整の

のち、詳細が決定すること。実施の暁には会員の積極的な参加をお願いする次第である。



役員会後の会員懇親会には、ご来賓の藤原庁長、稲田・坂本両副庁長始め、菅原会長以下会員三十名という多数の会員が出席し、大いに懇親を深めあった。その後の二次会、そして部屋での三次会と夜は更けていき、



聖寿奉祝の碑清掃活動 と修祓式参加

一年に一度の会員懇親会は、大変有意義なものとなった。

十月二十六日～二十七日にかけて、波照間島で開催された神道青年全国協議会主催による聖寿奉祝の碑清

掃活動と修祓式に、神道青年全国協議会理事・東北六県神道青年協議会議長である、当会の藤原常任委員が参加した。



一九七七年、先輩方が沖縄返還を記念して建立した「波照間之碑」は、日本全国から集められた石が敷き詰められた歩道の終着点に建てられている。

そのすぐそばには国旗掲揚塔が建てられたが風雨に晒されやすい環境のため、一九八五年、国旗掲揚塔に代わり、日本国旗のレリーフをはめ込んだ「聖寿奉祝の碑」を新たに建立した。

二十六日に石垣島に集合し、十九日より懇親会が行われた。明朝、天候次第で欠航の確率が五十%という悪条件のなか無事乗船し、波照間島に上陸することができた。十時に聖寿奉祝の碑の清掃活動、そして十一時から修祓式、聖寿の万歳を執り行った。昼食の後十三時の船で離島し、石垣島にて解散となった。

今回は現地調査と清掃活動を行うとともに、先輩方が築いてこられた思いを途絶えさせることなく、日本の安全と世界平和を祈る心を今後も後世に守り伝えていくと決意を新たに致した。

盛岡少年刑務所収穫感謝 祭齋行

十月三十一日、本年も恒例の盛岡少年刑務所の収穫感謝祭を当会にて奉仕をさせて頂いた。

県内各地七五三の時期と言うこともあり、会員三名での奉仕となったが、岩手県神社庁教誨師である一條善人先生に典儀を御奉仕頂き、無事滞りなく齋行することが出来た。

祭儀では献饌の際に二名の受刑者代表に御奉仕を頂き、刑務所内で育てた野菜を御神前にお供えして頂いた。また、玉串奉奠の際にも代表に合わせ拝礼する姿からは、祭儀に携わっているという緊張感が伺え、少なからず神事の厳粛さを伝えることが出来たのではない

かと感じている。

しかしながら、恒例の収穫感謝祭ではあるが年々参列の人数が少なくなっており、このような神事を通して敬神崇祖の念や感謝の心と言った日本人としての心の醸成、育成が難しくなっており、と実感した。今後、当会でも新たな試み等を検討し、神事を通じた人間形成の場を増やしていく必要がある。

盛岡少年院収穫感謝祭
齋行

十一月四日、今年も恒例の盛岡少年院収穫感謝祭を当会にて奉仕致した。

先導車を務めた菊池書記が道に迷うというアクシデントも有ったが、おおよそ時間通りに盛岡少年院へ到着。齋場の準備も滞りなく

済ませ、一條教誨師の法螺貝で参進。献饌では二名の受刑者が奉仕し少年院内で収穫された野菜を神前へ奉納した。玉串奉奠では参列者全員、受刑者代表に合わせ一糸乱れぬ姿で拝礼をされていた。



平日ということもあり会員七名という多数の奉仕を得、三管そろっての雅楽を奉奏することが出来るなど、大神様に喜んでもらえることはもちろんのこと、参列

者の宗教心の涵養にも資する祭典だったのではないかと思う。我々奉仕者の姿を見て、受刑者皆様の更生に繋がる何かを感じて頂ければ幸いである。

初めて奉仕した菅原正宜地区委員からは「奉仕出来る機会も少ないと思うので、まだ参加したことのない会員の皆様には是非参加して頂きたいと感じた。」という感想が聞かれた。

事業頒布品頒布活動

十月二十六日、神職教養研修会に於いて、事業頒布品頒布活動を行った。

午前九時より準備を開始し、研修会開始前と終了後に頒布活動を行った。例年に比べて、参加者の神社庁入りが遅かったのか不安なく

出だしとなったが、最終的には、神札袋を中心に昨年並みの頒布をすることができた。



対応は事業委員が主に任せているが、参加神職の方々にお声がけをいただいた。多くの役員・会員の皆様に改めて御礼申し上げる次第である。

引き続き頒布品のお声かけをいただきますようお願いを申し上げます。

新 役 員 インタビュー

【項目】①名前②役職③所属支部④奉務神社⑤独身⑥既婚⑦趣味⑧好きな芸能人やアーティスト⑨休日の過ごし方⑩神明奉仕にあたって心がけていること⑪影響を受けた本⑫座右の銘⑬あなたにとってズバリ神道とは？⑭青年会に期待すること⑮こんな活動がしたい！⑯役職就任にあたり抱負を一言

▼①橋本健太(はしもとけんた)②書記③宮古市下閉伊郡支部④川内八幡神社⑤独身⑥映画鑑賞⑦Mr.Children、広瀬すず、木村文乃⑧農作業⑨きれいな作法⑩古事記⑪継続は力なり⑫心のよりどころ⑬会の更なる発展⑭全会員一堂に

会しての懇親会⑮書記、広報委員会という大役を仰せつかり恐縮しております。神職として成長できよう努力しつつ、お役に立てるようがんばります！

▼①菊池洋隆(きくちひろし)②書記③北上市和賀郡支部④稲葉神社 権禰宜⑤独身⑥奏楽⑦JED ZEPPELIN⑧地元中学でのバレーボール指導等⑨神祇祭祀の尊重⑩『神道のちから(上田賢治著)』、『見えない道の歩き方(桜井章一著)』等⑪中今⑫全生命に神性を見出す生き方⑬会員相互の交流及び協力関係の構築⑭研修事業の充実、多業種の方々との交流、青少年教育育成活動の実施⑮事務局員として事務局長の手足とされるよう精一杯頑張らせて頂きます

▼①佐々木浩明(ささきひろあき)②書記③上閉伊支部④早池峯神社⑤独身⑥ダ

ーツ⑦所ジョージ・ケンドーコバヤシ⑧日帰り旅行⑨謙虚に誠実に、神社はもちろんのこと自分の周辺を清潔にしておく⑩『山岳信仰(中公新書)』⑪現状に甘んじることなく、人生を無駄に過ごさない⑫日本人の自然観⑬五年、十年先の青年会員の模範となるような取り組み⑭災害対策研修会⑮事務局長をサポートできるような務めて行きます

▼①谷藤大典(たにふじひろのり)②書記③盛岡市支部④諏訪神社⑤独身⑥スキール・酒飲み⑦渥美清・柴田恭兵・中島みゆき⑧休日無⑨愚直⑩『少年日本史(平泉澄著)』⑪危急存亡秋⑫神代から今この瞬間も(広義)⑬時には過激さを帯びたとしても(法令順守のもと)神社神道の立場をはっきりと行動・行動を以て示す。それが尖兵たる務め。⑭学校教育への介入・武蔵野御陵清掃奉仕⑮職務遂行

▼①小野宏之(おのひろゆき)②書記・事業委員会③西磐井平泉町④奥州平泉鎮座(宗)熊野三社⑤妻(景子)、娘(命彩メイサ4歳)、息子(那奈ユタ1歳)⑥体を動かすこと、演奏すること、い

じること、獲ること⑦BPM OF CHICKEN、マナカナのカナ方⑧基本的にじつとしないです。⑨繋がりを大事にする⑩『レヴオリュション No.3(金城一紀著)』本を読む楽しさを知りました⑪言うだけじゃ何も変わらない⑫日本のアイデンティティ⑬型や枠にはまらず、多岐にわたる活動。⑭現代のニーズにあう神社らしさをリリースしていきたいです⑮まずはやれるところから、いろいろ勉強していきたいと思えます。

※役員の皆様にはインタビューの提出にご協力をお願いします！



岩手県神道青年会
 ホームページのご案内
<http://ganshinsei.jp>

発行 岩手県神道青年会
 住所 一関市釣山一九 八幡神社社務所内
 電話・FAX 〇一九一—二三一—二九〇六

岩手県神道青年会のホームページを随時更新しております。最新の事業報告を掲載している外、広報「巖神青」のバックナンバーや、本社本庁包括下の県内神社の一覧を見ることが出来るなど、大変充実したホームページとなっております。「巖神青」では紹介しきれなかった各種事業の写真も数多く掲載しておりますので、会員の皆様には是非青年会活動の意義や楽しさというものを感じてもらって、活動にご参加頂ければ嬉しく思います。

皆様のご参加をお待ちしております！

【編集後記】
 年末を間近に控え、会員の皆様にはご多忙の日々をお過ごしのことと拝察致します。今年の冬は初積雪が例年より遅く、また気温も高い日が続いておりますことから、大雪の可能性が高いのもつばらの噂です。せめて正月期間中は雪が少なく、穏やかな年越しとなるよう祈っています。

さて、巖神青七〇九号いかがでしたでしょうか。下半期の事業も残すところ建国記念の日関係の事業のみとなりました。平成二十八年は更なる飛躍の年となりますよう、会員の皆様と共に歩んで参りたいと思えます。(直)